



有終の美を飾ろう！

校長 石踊 晴元

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり、日一日と暖かさが感じられるようになりました。先月中旬頃から初々しいウグイスの鳴き声がしていましたが、今では、近くの山や竹林から美しい鳴き声が心地よく聞こえてくるようになりました。花壇やプランターに植えてあるパンジー、ビオラ、ペチュニア、サクラソウ、ツルコザクラ、サイネリアも色鮮やかな花を咲かせています。校庭の桜の木にはつぼみがたくさんあり、ピンク色の花が2～3輪咲いている木も何本かありました。春の訪れを感じる今日この頃です。

さて、本年度も予定通り、教育活動やPTA活動を推進することができました。そして、子供たちが元気に学校生活を過ごしてくれたことが何よりでした。卒業・進級の節目を迎えた子供たちは、できるところようになったことがたくさんあり、心身ともに成長していることを感じる取ることができました。

卒業する押領司ほたるさん、前迫蓮太郎さんは、勉強に運動に精一杯頑張り、池田小学校のよきリーダーとして下級生を牽引してくれました。6年生は中学校で、在校生はそれぞれ進級した学年で、活躍してくれることと思います。4月6日には新1年生も入学します。令和5年度のスタートに向けて、しっかり準備していきたいと考えています。

保護者・地域の皆様、この1年間、本校の教育活動・PTA活動に対しまして、御理解・御協力くださりありがとうございました。

子供たちが大きな病気や事故等もなく過ごせたことは、皆様方のおかげだと深く感謝しております。子供たちはこの後春休みに入ります。今後も新型コロナウイルス感染防止の対策は継続しますが、卒業・進級の喜びを味わいつつ、決まりを守った規則正しい生活を送り、希望の春を迎えられるよう、御家庭や地域での御指導をよろしく願いいたします。



あきらめない全力プレーで Challenge!

3月9日から開催されているWBC（ワールドベースボールクラシック）。日本時間3月21日（火）に準決勝、22日（水）に決勝戦があります。侍ジャパンが勝ち上がり、きっと優勝するだろうと信じているのは私だけではないはずです。

侍ジャパンの試合に私は毎試合、感動しています。日系二世のヌートバー選手は、センター前ヒットになりそうな飛球をスライディングキャッチしてのファインプレーやボテボテの内野ゴロでも全力疾走して相手のエラーを誘い出塁するなど、全力でプレーをしていました。

また、昨年開催されたFIFAワールドカップ・カタール大会では、スペイン戦で三苦選手がゴールライン1ミリに残ったボールを必死に追いかけ、クロスパスを出して田中選手がシュートし1点が入りました。この1点で侍ブルーは決勝トーナメントに進むことができました。

2人に共通することは、プレーを諦めていないところです。ヌートバー選手がヒットにしたり、一塁へ全力疾走をしていなかっただら、三苦選手がボールを追うことをあきらめていたら、試合展開は大きく変わっていたことでしょう。

あきらめずにチャレンジすることで、成功や喜びに結びつくと考えます。すぐに結果がでなくても、再度チャレンジすることで、成功につながる結果が表れると思います。

子供たちには、何事に対しても常に前を向き、あきらめることなくチャレンジすることの大切さを学び、実践してほしいと思います。それが、池田小学校の校訓「自信と勇気をもて」に繋がると 생각합니다。

